



秋田市

社協だより

No.62

平成28年1月



ホームページでも
ご覧になれます

秋田市社協

検索



CONTENT



② 市社協トピックス2015

③ 平成27年度 秋田市社会福祉大会

④ 地区社協トピックス
除雪に関するお知らせ

⑤ 秋田市共同募金委員会からのお知らせ

⑥ 教育支援資金貸付のご案内
ふれあいさん募集
登録ヘルパー・ガイドヘルパー募集
市社協特別会員・団体会員について
企業・法人会員のご紹介

⑦ まごころページ
ご香典のならわし

⑧ 車いす貸出のご案内



夏休みチビッコボランティアでのひとコマ

「いつまでも自分らしく」

秋田市社会福祉協議会 会長 野口 良孝



新年 明けましておめでとうございます。

旧年中は、本会へご支援ご協力をいただき誠にありがとうございました。

さて、「いつまでも自分らしく暮らし続けたい」という願いは誰にでもあります。ここでの「いつまでも」は、当然ながら「一生涯ずっと」という意味があり、「病気になるまで」とか「介護が必要になるまで」といった時限的なものではありません。言い換えれば、たとえ病気を患い介護サービスを利用するようになったとしても、「生涯（最期まで）自分らしく暮らしたい」ということになります。

人には千差万別の人生の歴史があって、その中で人間関係が形成され、縁あって今この地域に暮らし、家族や

地域の中での役割を担っています。

しかし、介護サービスを利用したとたんに立場が一変し、これまでの役割が消え、周囲からも「支えられる人」という目で見られるようになり、地域とのつながりがなくなってしまうのは、「いつまでも自分らしく」ではありません。

「いつまでも自分らしい暮らし」を実現するためには、公的サービス、家族支援とあわせて、地域住民との関係性もたいへん重要になってきます。

地域とのつながりや絆は、日ごろから関係を築くことであり、もし、自分が「いつまでも自分らしく暮らしたい」と思うのであれば、今、自分が住んでいる地域がそう思えるのか、また、どうしたらそう思える地域になるのかを地域住民が主体となって、いろんな知恵を出し合いながら、創意工夫をしていく必要があると思います。

同じ地域に暮らす人として何ができるか、みなさまにとって本年も自分らしい一年でありますように。



この「社協だより」は、共同募金の助成金を一部活用し発行しております。



市社協トピックス2015



この事業は、みなさまからご協力いただいている社協会費（一世帯360円）と秋田市からの補助金で行われています。

救急医療情報キット事業（安心キット事業）

あらかじめ「かかりつけ医」や「持病」などの医療情報を専用の容器に入れ、冷蔵庫に保管しておくことで、自宅で具合が悪くなり救急車を呼ぶなど「もしも…」のときに、その情報を救急医療に活かします。

そのために専用の保管容器、医療情報などを記載する安心カード、キット設置の目印となるステッカーをお住まいの地域の地区社会福祉協議会が窓口になり、町内会や民生委員などを通じて希望者へ無料で配布しています。

昨年1年間で17件の活用がありました！

安心カードに記載した内容が古かったり、不備があり、適切な対応ができなかったと消防本部から報告がありました。時々、安心カードの内容を確認しましょう！

ご利用できる方

- ◎一人暮らし高齢者
- ◎高齢者のみの世帯
- ◎その他 キットの設置を希望する方



保管容器

このように活用されました

一人暮らしの高齢女性。
近所に住む長女が訪問したところ反応なし、呼吸有り。右片麻痺。脳卒中の疑い。長女が冷蔵庫から安心キットを取り出し救急隊へ手渡した。



※資料提供：秋田市消防本部 救急課

【安心キットに関するお問い合わせ先】

お住まいの地域の地区社会福祉協議会または、町内会長・民生委員のほか秋田市社会福祉協議会へもご連絡いただけます。



脳の健康教室

「文章を声に出して読む」「簡単な計算をする」ことは、脳を健康に保つために良いトレーニングになると言われています。脳の健康教室では、お一人おひとりに合わせて「読み書き」や「計算」を楽しく学んでいただく「楽習（がくしゅう）」を実施しています。65歳以上のかたを対象に八橋教室、西部教室、南部教室の3会場で脳の健康教室を開催しました。

サポーターの協力もあり、週1回の外出や仲間との会話も楽しみでよい刺激になると、受講者から好評を得ております。

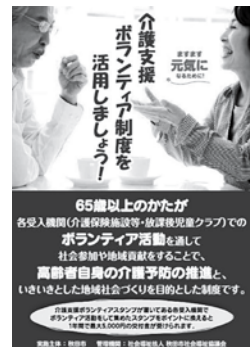
※平成27年度は終了しました。



秋田市介護支援ボランティア制度

秋田市からの委託事業として、平成24年10月1日から始まった「秋田市介護支援ボランティア制度」は今年で4年目を迎えました。登録者も382名と増え、秋田市内の受入施設で日々楽しく活動をしています。また、今年度からは新たに“放課後児童クラブ”3施設が加わり、介護保険施設91施設と合わせ、活動の幅が広がりました。

65歳以上の方を対象としている秋田市介護支援ボランティア制度の登録講習会は月1回程度開催しています。



● 安心キット、脳の健康教室、秋田市介護支援ボランティア制度に関するお問い合わせ先 ●

秋田市社会福祉協議会 TEL 862-7445

平成27年度

秋田市社会福祉大会

広げよう 命を守る 地域の絆 ～小地域の見守りを広めよう～

■ 平成27年10月30日(金) ■ 秋田市文化会館 大ホール 参加者800名



本年度の秋田市社会福祉大会が10月30日に秋田市文化会館 大ホールで開かれ、社会福祉事業の推進に貢献された1団体と功労者44人に表彰状や感謝状が贈られました。功労者への表彰をした後、高齢者や障がい者などの安全・安心の確保と、認知症の予防と対応の充実・拡大などの大会宣言を採択しました。

表 彰

平成27年度社会福祉功労者 (敬称略、順不同)

- ◆ 本会の運営・改善・向上に特に功績のあった方
公益財団法人 秋田市総合振興公社
- ◆ 長年本会の役員として社会福祉事業の推進に貢献された方
高橋満男・高橋良慥
- ◆ 長年地区社会福祉協議会役員として社会福祉事業の推進に貢献された方
小松文雄・坂元昇・嵯峨齊・森加寿美・齋藤忠男・栗山由美子・佐藤登
中村勇造・金森ユリ子・伊藤明子・小林京子・牧野一志・神谷薫・進藤富夫
- ◆ 地区社会福祉協議会活動を通して地域福祉向上に長年尽力された方
佐藤敬一・國安秀俊・伊藤庄司・豊嶋孝夫・工藤勝義・中道眞知子・八嶋昭康
佐々木直子・森本讀春・尾形益治郎・佐藤勝男・伊藤キミ子・石川眞二
佐藤富子・進藤瑠璃子・湊えり子・渡辺富美・菅原満壽子・武藤芳・橋野茂子
菊地満紀子・佐々木昌子・一ノ関史郎
- ◆ 長年にわたり家庭において家族の介護に尽された方
後藤和義
- ◆ ボランティア活動を通して地域福祉向上に長年尽力された方
半田榮子

感 謝 状

- ◆ 多年にわたり本会の事業推進に多大な貢献をされた方
伊藤憲一・熊谷宗雄
- ◆ 長年にわたり民生委員・児童委員として地域福祉活動に尽力された方
越智チエ

講 演

「高齢者が安心して暮らせるために」
～入浴関連事故の予防と
地域の支えあいについて～



慶應義塾大学 医学部 救急医学教室

ほり しんご
教 授 堀 進悟 氏

多発する入浴事故に注意!!



なが湯はだめ!!

お湯の温度は
41度以下がよい風呂
.....

「これで我が家も安泰だあ!!」
～あなたの入浴方法は大丈夫!?～



秋田市消防本部職員による寸劇

地区社協トピックス



保戸野
地区

あかし
百年の証
(保戸野地区敬老会)



毎年9月に実施されている、地区敬老会は、昨年遂にその101回目を数えた。地区先輩諸氏からの申し次ぎによる回数だが、その歴史にはハテナマークが付くこともあった。

所が昨年敬老会の直前、地区内旧家で1枚の写真が発見され、その真偽が一挙に解明された。

◀ 現当主（満80歳）の曾祖母が参加された
「大正5年・第2回敬老会（於・勝平神社（鉄砲町）」の集合写真

下浜地区 ふれあいサロン（世代間交流会）

下浜地区社会福祉協議会が開催する「ふれあいサロン（世代間交流会）」が11月14日（土）、下浜コミセンの体育館で行われました。

恒例となっているこの行事には、児童や老人クラブそして地域の方など大勢が集まり、会場は歓声に包まれました。

講師の佐々木もと子先生と一緒に、サザエさん体操・お手玉ゲーム・折り紙ヘリコプター等を楽しんだ後、お昼には民生委員の方々が作ってくれたカレーライスを全員で美味しくいただきました。心温まる初冬のひとときでした。



世代間交流会でのひとコマ

除雪に関するお知らせ

お問い合わせ
お申し込み先

◆秋田市社会福祉協議会 / ☎ 862-7445 FAX 863-6068

◆秋田市ボランティアセンター / ☎ 862-9774

Mail: vc@akita-city-shakyo.jp



秋田市社協除雪支援

検索

◆除雪ボランティアをお願いしたい方へ



【対象】

高齢者のみの世帯、障がい者の方がいる世帯で、次の①～③のすべてに該当する方

- ① 自力で除雪できない
- ② 市内に親子・兄弟などがいない
- ③ 業者への除雪依頼が経済的に困難である

【次の場合に派遣します】

- ◎ ガスボンベ、ストーブの排気口が雪で覆われて危険な場合
- ◎ 積雪で窓ガラスが割れそうな場合
- ◎ その他、降雪により危険な場合

◆除雪機・用具の貸出

用具をはじめ、除雪機や除雪機を運搬する移送車など、ボランティアを行う方のために、さまざまな除雪用品を用意しております。



除雪ボランティアに参加いただける方へ

秋田市ボランティアセンターでは、個人、団体、企業で除雪活動に参加して下さる方を募集しています。

【活動期間】 12月下旬から3月上旬を予定

※降雪・積雪状況、ボランティアの登録状況により活動機会がない場合もありますのでご了承下さい。

【持ち物】 防寒具、手袋、長靴、着替え、飲み物、タオル

（スコップ等の道具は秋田市社会福祉協議会で用意しますが、使い慣れた道具をご持参いただいても構いません）

【活動時間】 1時間から2時間程度

（移動時間を除く）

除雪をする
ボランティア隊



●活動の流れ●

秋田市ボランティアセンターに電話・FAX・メール等で登録します。
（氏名・住所・電話番号等）※登録申込書は、ホームページからもダウンロードできます。

秋田市社会福祉協議会に除雪依頼の相談があった時、登録された連絡先へ連絡をします。

除雪活動の日程や場所をお知らせしますので、参加できるかお返事ください。

除雪ボランティアへ登録されるみなさんにはボランティア活動保険に加入していただきます。
掛金は、秋田市社会福祉協議会で負担します。自己負担はありません。



秋田市共同募金委員会からのお知らせ



平成27年度赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました



秋田市共同募金委員会 会長 藤澤 浩

新年 明けましておめでとうございます。平成27年度の募金活動に多大なお力添えをいただいた、市内各地区共同募金委員会、町内会、学校、事業所、各種団体のみなさまにあらためて心からお礼を申し上げます。なお、募金の詳細については赤い羽根データベース「はねっと」で検索してご覧ください。

はねっと

検索

平成27年度 中央共同募金会会長表彰

～おめでとうございます～

◆共同募金運動に著しく貢献した奉仕者◆ 飯島地区共同募金委員会 会長 長谷川 瑞子



「募金百貨店プロジェクト」が始まりました!!



「募金百貨店プロジェクト」は、企業や事業所、商店等にとって本業にメリットのある寄付つき商品・企画を一堂に集約し、赤い羽根共同募金会が募金の百貨店になろうというプロジェクトです。

平成24年に山口県共同募金会がはじめた事業で、現在では全国で実施されております。東北では昨年度から岩手県と本県で実施中。寄付つき商品の売上の一部を共同募金委員会へ募金し、「企業と地域をつないで、地域をもっと元気にしよう」という取り組みです。秋田市でも平成27年11月から「募金百貨店プロジェクト」をスタートし、平成27年12月現在で9社の協力をいただいております。



11月11日に参加企業と秋田県共同募金会による募金百貨店プロジェクト覚書調印式が秋田市老人福祉センターで行われました。

◆参加企業および商品企画のご紹介（敬称略、順不同）

企 業 名	寄 付 内 容
株式会社境田商事	店舗「食器のさかいだ」1階および2階売場で販売している「箸」の売上金額の3%を寄付
リコージャパン株式会社東北事業部秋田支社	「ゲートウェイセキュリティパック」1セットにつき300円を寄付
秋田活版印刷株式会社	「年賀状（喪中ハガキ含む）」1枚印刷につき1円を寄付
株式会社エイチ&エイチ	あかね健康堂薬局2階で開催している「ふれあい・いきいきサロン」の利用料から、1人10円を寄付
株式会社フロム・エー	「封筒」受注1回につき20円を寄付
株式会社アキタパークホテル・マネージメント	「中華日替わりランチ」1食につき10円を寄付
有限会社県庁食堂	「健康ランチ」1食につき5円を寄付
フラワーおの	「フラワーボックス」1個につき10円を寄付
そば処四季	「レディースセット」1食につき10円を寄付

参加いただける企業さんを募集しておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

●お問い合わせ・お申し込み● 秋田市共同募金委員会（秋田市社会福祉協議会内）TEL 018-862-7445

高校・大学等入学の
子どもさんの春を応援します！

教育支援資金貸付のご案内

秋田市社会福祉協議会では次のような世帯を対象とした高校・短大・大学等の入学時の教育支援資金の貸付窓口業務を行っています。

【対象】

- ・低所得世帯で年収が低いいため他の金融機関（銀行、日本政策金融公庫等）から借入れが困難である方
- ・奨学金制度（日本学生支援機構、秋田県育英会等）に該当しない方

※母子家庭、父子家庭および寡婦の方は秋田市子ども総務課の「母子父子寡婦福祉資金貸付」が優先となります。

【申請の場合、下記の書類が必要です。】

- ①合格（入学）証明書、在学中は在学証明書
- ②借入する金額がわかる書類等
（学校に係る経費が記載されたもの）
※なお、受験票が発行された場合には事前に申込みはできません。

【申請について】

- ・借受人がご本人となるので、連帯借受人（収入のある親権者）が1名必要です。



【ご相談・お申し込み先】 秋田市社会福祉協議会 生活福祉資金担当 電話 862-7445

ふれあいさん募集



病気やケガ、産前産後などで家事援助や介助等が必要な世帯に短期間の生活支援をする「ふれあいさん」を募集します。

業務内容：家事援助、身体介護、移動支援、外出介助などのホームヘルプサービスや同行援護等

報酬：1時間 850円

活動範囲：秋田市内

活動時間：9：00～17：00の間で活動できる時間。
活動時間については別途相談に応じます。

資格等：介護福祉士、ホームヘルパー養成研修1・2級、
介護基礎研修、介護職員初任者研修、保育士

移動方法：自宅と利用者との直行直帰

移動手段：自家用車（借上げ料あり）、徒歩、バスなど

募集年齢：18才以上65才まで

お問い合わせ・連絡先 秋田市社会福祉協議会
ふれあいさん担当 電話 862-7445

登録ヘルパー・ガイドヘルパー募集

あなたの空いてる時間をホームヘルパー、ガイドヘルパーとして活動してみませんか。

業務内容：家事援助、身体介護、移動支援、外出介助などのホームヘルプサービスや同行援護等

報酬：1時間 1,080円～（休日割増）

活動範囲：秋田市内

活動時間：自分でできる範囲。活動時間については別途相談に応じます。

資格等：介護福祉士、ホームヘルパー養成研修1・2級、
介護基礎研修、介護職員初任者研修
※ガイドヘルパーは別途資格要件があります。

移動方法：自宅と利用者との直行直帰

移動手段：自家用車（借上げ料あり）、徒歩、バスなど

募集年齢：64才まで ※おおむね70歳まで活動可

お問い合わせ・連絡先 秋田市社会福祉協議会
ホームヘルパー事業所 担当（千葉）電話 862-7929

市社協特別会員・団体会員を募集しています

秋田市社会福祉協議会では「誰もが安心して暮らせるまちづくりをみんなの手で」を基本方針として、市民のみなさまの福祉の充実のため活動しております。つきましては、本会の活動や事業にご賛同いただける特別会員・団体会員を募集しておりますので、何とぞご協力いただきたくお願い申し上げます。なお、いただいた会費につきましては、地域福祉を推進するための様々な活動に役立てさせていただきます。

会員の区分		会費（年額）
特別会員	個人	1口 1,000円
	社会福祉事業施設、団体	1口 2,000円
団体会員	企業・法人	1口 10,000円

【お申し込み・お問い合わせ先】

秋田市社会福祉協議会 総務管理課 電話：862-7445

企業・法人の団体会員（敬称略、順不同）

株式会社かんきょう
株式会社菅生商店
秋田県石油商業協同組合
第一石炭株式会社
株式会社フロム・エー
秋田印刷製本株式会社
秋田マシンサービス株式会社
協和物産
株式会社河辺清掃社

（有）秋田三京
株式会社くまがい印刷
清三屋商事株式会社
伊藤工業株式会社
有限会社工藤平版印刷
澤田石晶税理士事務所
株式会社日立超LSIシステムズ
株式会社ファイル・アキタ
秋田トンボ株式会社

有限会社伊藤整備工場
株式会社高尾自動車整備工場
オートショップ神居
（有）金圓
株式会社雄和振興公社
株式会社小田島アクティ
株式会社とみや秋田営業所
（有）池田看板
有限会社県庁食堂

株式会社こすもす秋田
秋田管工事業協同組合
株式会社最上屋
株式会社秋田ウィンドパワー研究所
加圧スポーツ整体整骨所
有限会社デオックス

※平成27年12月1日現在、35社よりご協力いただいております。なお、社名掲載についてはご承認いただいた企業・法人のみを掲載させていただきました。

地区へのまごころ

■平成27年6月1日～平成27年10月31日
(敬称略、順不同)

香典返し

- 中通地区…田村知子 ●築山地区…本庄タキ ●泉地区…齋藤順子
- 川尻地区…菊地金作・岩見秀和・佐藤清 ●東地区…近江谷利子
- 新屋勝平地区…鈴木秀司・野村修
- 浜田地区…相原次忠 ●下浜地区…大友由次・大友宗一
- 飯島地区…船山齋 ●仁井田地区…高橋美佐緒・加藤邦夫
- 四ツ小屋・御野場地区…熊地圭祐・高橋巳喜男
- 上北手地区…堀野武美・鎌田誠子・熊谷秀雄・鈴木清春 ●河辺地区…高橋千賀子
- 雄和地区…山内久兼・進藤司・堀井進・加藤善隆・加藤幹雄・関藤節雄・
京極芳郎・菅野俊夫



篤志寄付

- 中通地区…武藤良英・熊谷宗雄・鳥海定 ●茨島地区…加藤邦広

市社協へのまごころ

■平成26年7月15日～平成27年12月7日
(敬称略、順不同)

香典返し

澤田石晶・故中村敬三（前田峯子）

篤志寄付

長谷川孝・木村美恵子・伊藤正樹・秋田寿大学・秋田南法人会・恵たまえ
秋田県職員手形公舎2棟会・桜雅会・ウェスターまつり実行委員会・あずさ愛・菊池喜一郎
保坂久和・中村裕・黒墨祐子・堀部正一・佐藤實・秋田市グラウンドゴルフ協会

物品寄付

星野美樹・菊地武雄・保坂勇・故中村敬三（前田峯子）・秋田市母子寡婦福祉連合会

～ご香典のならわし～

香典とはもともと故人に香料としてお供えする金銭や物品のことをいいます。今は現金が一般的ですが、昔はお米などを供えることも多くありました。

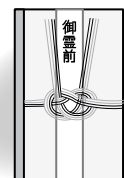
かつての葬儀は、近所の人など大勢の人の手で執り行われていたため、多くの食料が必要でした。そのため、香典として供えられた米も大きな役割を持っていました。逆に、供えてもらった家で不幸があった時は、同じように香典を供え、葬儀を手伝い、お互いに助け合う習慣がありました。

現代では、香典は現金で供えられることがほとんどで、相手の家での不幸の際に手伝う機会もかなり少なくなってきましたので、借りを残さないようにする

ためにも香典返しという品物にてお返しする習慣が一般的になってきました。

これらのなごりから、香典を供えてもお返しは受け取らないという地域もあり、そのかわり故人が生前お世話になった感謝の気持ちとお礼を込めて、地域の福祉活動に役立ててほしいと寄付する方もいます。

秋田市社会福祉協議会では、ご寄付いただいた香典返しを各地区コミセンに配置している貸出用車いすなど、福祉機器の貸出事業に活用させていただいております。



地域みなさんがご利用できるようお近くの施設でも

車いすを貸出しています!

秋田市社協では、車いすを必要とする方に一時的に貸出をしています。



●貸出期間／1週間以内

1週間以上の利用を希望する場合は、秋田市社会福祉協議会へお問い合わせください。

●利用料金／無 料

各施設の車いすを軽くて使いやすい

ノーパンクタイヤにどんどん更新しています!

手続き方法

① 申し込み

下記施設へ来所または電話により空き状況を確認のうえ、お申し込みください。

② 借用

お申し込みされた施設の窓口へお越しください。

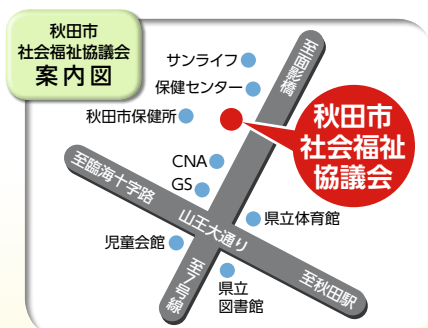
③ 返却

車いすを借りた施設へ返却してください。

1	北部市民サービスセンター (キタスカ)	845-2261	2	西部市民サービスセンター (ウェスター)	888-8080	3	南部市民サービスセンター (なんびあ)	839-2720
4	下浜地域センター	879-2005	5	金足地域センター	873-2111	6	保戸野地区コミセン	824-4701
7	寺内地区コミセン	845-0537	8	旭川地区コミセン	835-1712	9	川尻地区コミセン	866-2770
10	將軍野地区コミセン	845-1408	11	榑山地区コミセン	834-9844	12	旭北地区コミセン	866-7266
13	太平地域センター	838-2111	14	東地区コミセン	833-9967	15	旭南地区コミセン	865-3337
16	外旭川地域センター	868-1500	17	勝平地区コミセン	862-1618	18	南部公民館	832-2457
19	飯島地区コミセン	845-1731	20	茨島地区コミセン	823-0374	21	港北地区コミセン	847-2340
22	下新城地区コミセン	873-2112	23	泉地区コミセン	824-8035	24	八橋地区コミセン	866-8341
25	上新城地域センター	870-2845	26	明德地区コミセン	836-1636	27	上北手地域センター	839-2522
28	豊岩地区コミセン	828-2135	29	大住地区コミセン	839-6900	30	下北手地域センター	833-1461
31	せせらぎ苑デイサービスセンター (河辺・岩見三内)	883-2770	32	秋田市社協(河辺事務所)	881-1205	33	秋田市社協(雄和事務所)	886-5071

※コミセンはコミュニティセンターの略称です。

福祉一般、在宅介護、ボランティア活動などのご相談、ご意見を秋田市社会福祉協議会へお気軽にお電話ください。



☎ 862-7445 FAX.863-6068

〒010-0976

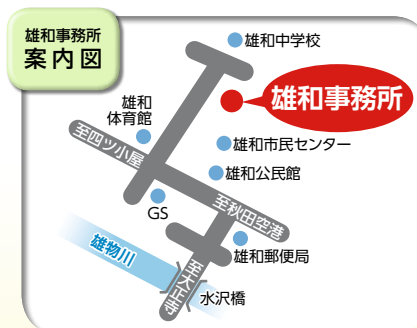
秋田市八橋南一丁目8-2



☎ 881-1205 FAX.882-3467

〒019-2625

秋田市河辺北野田高屋字上前田表66-1



☎ 886-5071 FAX.886-5077

〒010-1223

秋田市雄和妙法字上大部77-1

編集後記

子どもたちから根強い人気の「妖怪ウォッチ」をご存知でしょうか。主人公の男の子が妖怪ウォッチという妖怪を見ることができる時計を使って、街での問題を解決していくお話です。登場するたくさんの妖怪はおもしろい名前が多く、人の記憶を食べる帽子の妖怪「わすれん帽」や最悪な事態を引き起こすボクサーの妖怪「あんのジョー」など悪い妖怪もいます。そんなたくさんの妖怪を覚えた子どもたちの中には、悪いことをして怒られた時など

に「妖怪のせいだ!」と言い訳をしてお母さんたちを困らせる子もいるのだそうです。2015年は国内外問わず「妖怪のせいだ!」では済まされない暗い話題が多く、日本という国について考えさせられる一年になりました。そのような中でもラグビーの明るい話題は国民に勇気と元気を与えてくれたように感じます。2016年は妖怪ではなく福を呼び込めるようなたくさんの明るい話題で、笑顔溢れる一年にしたいですね。